

# 塗 装 仕 様 書

SPS-T-7-23

1. 塗装系記号 : T-7 替ケレン-2, 3 (スプレー)
2. 適用部位 : 一般外面

### 3. 使用塗料明細

一 般 名 称	規 格	塗 料 名
厚膜型変性エポキシ樹脂系塗料	SPS 66099-12	ネオゴーセー#2300NT-HB
厚膜型ポリウレタン樹脂塗料上塗	SPS 66099-21	N Y ポ リ ン K 上 塗 H B

### 4. 塗装仕様

工 程	素地調整程度・塗料名	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )	目標膜厚 (μm)	塗装間隔 (20℃)	塗装区分
素地調整	替ケレン-2 及び 替ケレン-3 スクレーパ、細のみ、鋏かきなどの手工具とディスクサンダ等の動力工具との併用、又は、部分ブラストを併用する。 (活膜を残す。さび部や素地に達する塗膜われ部は、鋼素地を露出し、除錆度-3以上とすること。素地に達しないわれ、はがれ、ふくれ部は、異状を生じた塗膜部分を除去する。)			その日のうち	現 場
第1層	補修 ネオゴーセー#2300NT-HB (さび色)	240 (スプレー)	60	24時間～	
第2層	全面 ネオゴーセー#2300NT-HB (赤さび色)	240 (スプレー)	60	7日 24時間～	
第3層	全面 ネオゴーセー#2300NT-HB (指定色淡)	240 (スプレー)	60	7日 24時間～	
第4層	全面 N Y ポ リ ン K 上 塗 H B (指定色)	180 (スプレー)	50	7日 24時間～	

〔注意事項〕

1. 塗替え塗装では、新設時の工場塗装と異なり、基本的に塗料使用量を空缶管理で行い、塗膜厚管理は行わない。  
このため、部位間の塗膜厚みの大きなばらつき、標準塗布量異常の塗付けによる塗料不足又は塗布量不足による余剰塗料の発生といった事態に至ることが考えられる。これらを防止するためには、塗装作業開始前や作業中の適当な時期に、JIS K 5600-1-7「膜厚」方法No.1（ぬれ膜厚の評価）に規定するウェット膜厚計などを用いて、ぬれ膜厚みを測定し、必要量の塗布ができていないかを確認すること。
2. 除錆度-3とは、ISO 8501-1の標準写真と対照し、C St3以上であること。